



# オキツモ 防火塗料

## フレームコントロール No. 20-20

作成日: 2010.05.26  
改訂日: 2012.11.20

### 1. 使用用途

木部用防火塗料(水系)

### 2. 塗料性状

項目	内容
容姿	1液型
荷姿	1Kg、4Kg、16Kg
色相	白
光沢	艶消
密度(23℃)	1.29g/ml(参考値)
粘度(23℃)	BH粘度計 6号ローター 20回転 20,000±5,000mPa・s
加熱残分	59wt%(参考値)
引火点	なし
発火点	-
pH値	8~11.5
貯蔵期間	6ヶ月
危険物表示	非該当
有機溶剤区分	非該当
有害物質表示	なし

注) 上記の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

### 3. 塗装基準

項目	内容		
適応素材(※1)	壁板、天井などの木材		
素地調整	素材表面のワックス、汚れ、油などをサンドペーパーで取り除き、表面を乾燥させること。		
使用シンナー	精製水		
塗装方法	塗装方法	ハケ ローラー	エアレス エアースプレー
	希釈率(wt%)(※2)	0~10	0~10
	塗装回数(回)(※3)	2	1
	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> /回)	170	410
	標準膜厚 (total, Dry)	120μ m	
エアレス塗装条件例	ノズルNo. : 40C17(旭サナック) 圧力: 8~10MPa(2次圧)		

(※1) 床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないでください。

(※2,※3) 希釈量、塗装回数は目安です。  
塗装方法に応じて仕様を設定してください。

乾燥時間(※4)	温度	10℃	20℃	30℃
	指触	1時間	30分	30分
	半硬化	2時間	1時間	1時間

(※4) 乾燥時間は外気温等、個々の塗装条件によ変動する可能性があります。

### 4. 使用上の注意点

- 1) 施工仕様書をよく読み適切な塗装仕様を設定したうえで塗装を行ってください。
- 2) 開缶後、堅い塊がなく一様になるまで十分攪拌し御使用ください。
- 3) 下記のような場合の塗装は避けてください。  
降雨、降雪が予想される場合。  
素材の表面温度、又は外気温が10℃以下の場合。  
露点との差が3℃以下の場合。  
相対湿度が85%以上の場合。  
風の強い場合。
- 4) 本塗料を塗装した上に他塗料を塗装すると防火性能が発揮されない場合がありますので絶対にやめてください。
- 5) 強制乾燥を行うと防火性能が発揮されない場合がある為、塗膜の乾燥は必ず常温で行ってください。
- 6) 使用後の塗料は皮張り防止の為、密閉して凍結に注意し冷暗所で保管してください。
- 7) その他、塗料取り扱いの一般的な注意事項の詳細については、製品安全データシート(MSDS)を御参照ください。



# 施工仕様書

作成日:2011.05.18  
改訂日:2012.11.20

## オキツモ 防火塗料 フレームコントロール No.20-20

### ●刷毛、ローラー塗装

工程	商品名	希釈剤	希釈率 (wt%)	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚 Dry(μ m)	塗装間隔 (20°C)(※2)	
1	適応基材	壁板、天井などの木材 (注)床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないで下さい。					
2	素地調整	素材表面のワックス、汚れ、油などをサントペーパーで取り除き、表面を乾燥させること。					
3	塗装 (1回目)(※1)	フレームコントロール No.20-20	精製水	0~10	170	60	4時間以上 7日以内
4	塗装 (2回目)(※1)		精製水	0~10	170	60	—

### ●エアレス、エアースプレー塗装

工程	商品名	希釈剤	希釈率 (wt%)	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚 Dry(μ m)	塗装間隔 (20°C)(※2)	
1	適応基材	壁板、天井などの木材 (注)床、棚、廊下、湿度の高い場所、直接水のかかる場所、屋外には使用しないで下さい。					
2	素地調整	素材表面のワックス、汚れ、油などをサントペーパーで取り除き、表面を乾燥させること。					
3	塗装(※1)	フレームコントロール No.20-20	精製水	0~10	410	120	—

(※1) 希釈量、塗装回数を目安です。塗装方法に応じた仕様を設定してください。

(※2) 乾燥時間は外気温等、個々の塗装条件により変動する可能性があります。

#### 【その他注意事項】

1. 施工仕様書、塗料説明書をよく読み適切な施工仕様を設定したうえで塗装を行ってください。
2. 開缶後、堅い塊がなく一様になるまで十分攪拌してから御使用ください。
3. 下記のような場合の塗装は避けてください。
  - ・降雨、降雪が予想される場合。
  - ・素材の表面温度、又は外気温が10°C以下の場合。
  - ・露点との差が3°C以下の場合。
  - ・相対湿度が85%以上の場合。
  - ・風の強い場合。
4. 本塗料を塗装した上に他塗料を塗装すると防火性能が発揮されない場合がありますので絶対にやめてください。
5. 強制乾燥を行うと防火性能が発揮されない場合がありますので塗膜の乾燥は必ず常温でおこなってください。
6. 使用後の塗料は皮張り防止の為、密閉して凍結に注意し冷暗所で保管してください。
7. その他、塗料取り扱いの一般的な注意事項の詳細については、製品安全データシート(MSDS)を御参照ください。